

春日井市長選挙、市議会議員補欠選挙

5月13日告示、20日投開票の春日井市長選挙および市議会議員補欠選挙において、新政あいちが現職の伊藤太市長、新人の鈴木ひでなお候補を推薦し、選挙戦を展開しました。

結果、伊藤市長が54,243票で4回目の当選を、鈴木候補が57,648票で初当選を果たすことができました。

私も、市内各地でみなさまにお訴えをさせていただきましたので、今後、伊藤市長には「市民協同の市政運営」を、また鈴木市議には「みなさまの声を市政に届けること」をより意識していただくよう、さらなる連携を深めていきたいと思っております。

引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



伊藤太市長4期目当選



鈴木ひでなお市議初当選

愛知県でもヘルプマークを配布します

以前、県政レポート(第27号 平成30年1月発行)にてご紹介した「ヘルプマーク」^(※)について、7月20日から県内一斉配布を開始しました。

普及にあたっては、みなさまの御理解と御協力が必要不可欠です。

電車・バスの中でヘルプマーク利用者を見かけられましたら席をお譲りいただくとともに、困っているようであれば進んでお声がけいただくなど、「思いやりのある行動」をお願いします。

【主な配布場所】

- 各市町村障害福祉担当課
- 県保健所

※義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮が必要とされていることが外見からは分かりにくい方々が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマーク。



ヘルプマーク

ひび挑戦!

6月30日に後援会の恒例行事である「さくらんぼ狩りバス旅行」を実施しました。今回はお子さま連れのお母さまにも気楽にご参加いただけるよう、初めて「親子バス」を設けました。参加者の方からは「赤ちゃんを連れてのバス旅行はハードルが高くて行けなかったが、今回は気楽に時間を過ごせ、リフレッシュできた」といったご意見をいただき、大変うれしく思いました。

私自身、子育てをする身として、子育て支援策について今後も行政への働きかけを継続して行うとともに、こうした取り組みも積極的に行っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



親子バス参加者のみなさまと昼食時にゲーム

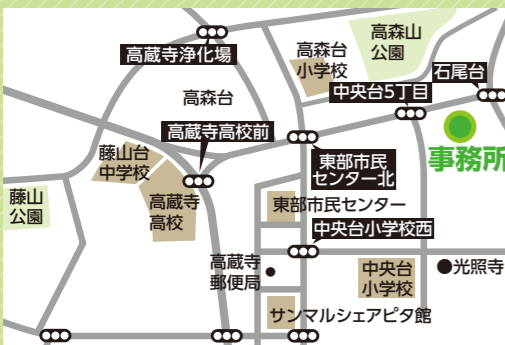
下記住所に事務所を構えておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

住所 春日井市中央台6-7-4

電話 0568-70-0594

FAX 0568-70-0580

HP <http://www.hibi55.com/>



日比たけまさ県政レポート 第29号

発行元:日比たけまさ事務所 春日井市中央台6-7-4 TEL:0568-70-0594 発行責任者:日比たけまさ

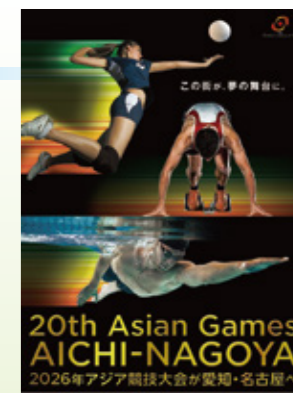
地域に根ざした政策の実現へ

愛知県議会は5月25日に5月臨時議会を、また6月18日から7月5日にかけて、6月定例議会を開き、両議会合わせて総額7億7,277万円の補正予算案や条例改正議案8件、さらには公安委員・人事委員の選任人事案件等14件の議案を可決・成立させました。

補正予算案には、愛・地球博記念公園内に2022年度中の開業を目指す「ジブリパーク」についての基本構想策定業務や基本設計業務、また、2026年に愛知・名古屋で開催が決定している「アジア競技大会」の開催都市負担金等が含まれています。

今後も『県民目線』で地域に根ざした政策の実現を目指してまいります。

第20回アジア競技大会ポスター



代表質問 佐波 和則 総務会長 (東海市選出 2期)

ジブリパーク構想の推進

《Q》 ジブリパーク構想を通じて、「愛・地球博記念公園」はどのような公園を目指していくのか。

《知事》 自然環境や都市公園としての機能を損なうことなく、ジブリパークを公園内に溶け込むよう整備することにより、公園全体の魅力を向上させ、多くの方々に愛されるオンリーワンの公園を目指す。

今後、基本構想等の策定を行うこととしており、その中で概算事業費や開業後の維持管理を含めた運営計画、さらには来場者の利便性向上のための方策等についても検討を進め、愛知万博の理念を次の世代へしっかりと継承していく。



青春の丘エリアイメージ図

© Studio Ghibli

「健康長寿あいち」への課題

《Q》 「健康日本21あいち新計画」の中間評価では、策定時より悪化した指標も見受けられる。県として今後どのような対策を講じていくのか。

《知事》 平成28年国民生活基礎調査に基づく「都道府県別健康寿命」では、本県の健康寿命^(※)は女性が第1位、男性が第3位と全国トップクラスにある。

しかしながら「健康日本21あいち新計画」の中間評価の結果において、食生活や飲酒など生活習慣の悪化が認められた。今後、健康寿命の延伸を図るためには、生活習慣の改善が課題であると認識している。

そこで今年度から、企業等が加入する医療保険者や経営者団体と相互連携協定を締結する。また、「健康経営」を導入する企業を増やすため、特に優れた取組を行う企業の表彰制度を本県独自に創設する。

※健康寿命:介護などの必要がなく、日常生活を支障なく過ごせる期間

都道府県別の健康寿命ランキング(2016年 男女別)

男性			女性		
順位	都道府県	健康寿命	順位	都道府県	健康寿命
1	山梨	73.21	1	愛知	76.32
2	埼玉	73.10	2	三重	76.30
3	愛知	73.06	3	山梨	76.22
4	岐阜	72.89	4	富山	75.77
5	石川	72.67	5	島根	75.74

2面へつづく

委員会関係

5月25日に開かれた臨時議会にて健康福祉委員会の委員長に選任されました

少子高齢化のさらなる進行や人口減少社会が到来するなか、愛知県が活力を維持しながら持続的に発展し、すべての人が活躍する社会を実現するためには、県民の健康を支える医療・福祉の充実が欠かせません。

こうしたなか、認知症に理解の深いまちづくりの実現を始め、次代の担い手である子どもを安心して生み育てることができる環境づくり、障害のある方が身近な地域で自立した生活を営むための支援など、多様な施策に取り組むことが重要です。

健康福祉委員会は、認知症対策の強化や子ども・子育て支援の充実、障害者福祉・ノーマライゼーションの推進など、身近な県民生活に直結する事項を幅広く扱うことから大変重要な役割を担っています。

特に、健康福祉委員長は愛知県社会福祉審議会、愛知県健康づくり推進協議会、愛知県藤楓協会（ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発に努める会）等々の役職を委嘱されるとともに、多くの会合に出席する機会をいただけることから、大変勉強になります。

委員長としての職責を全うすべく、円滑な委員会運営に努めたいと思います。

一方、安全・安心対策特別委員会の委員にも選任されました。ここ2年は名古屋競輪組合議会、愛知県競馬組合議会の議員であったことから、特別委員会の委員から外れておりました。3年ぶりの委員、かつ初めて臨む委員会ではありますが、防災・防犯を始め、県民生活に欠かすことのできない分野ですので、しっかり勉強していきます。



健康福祉委員会



第35回愛知県聴覚障害者大会に参加し、手話で自己紹介しました

代表質問

仕事と介護の両立支援

《Q》 仕事と介護の両立のために、多様な介護サービスや介護施設の拡充が喫緊の課題と考えるが、どのように対応していくのか。

《知事》 「訪問介護」「訪問看護」「通所介護」「短期入所」などのサービスを一層拡充するほか、要介護者の状態に応じて、これらを一体的に提供できる「小規模多機能型居宅介護」や「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などのサービスについても一層充実させていく。また、今後3年間で必要と見込まれる1,818人分の特別養護老人ホームの整備を計画したほか、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホームなどの整備も拡充し、要介護者等の

ニーズに対応していく事で、仕事と介護の両立が図られるよう取り組んでいく。



県有地に開設された「地域密着型特別養護老人ホーム」・「小規模多機能型居宅介護事業所」等を兼ね備えた高齢者福祉施設

一般質問

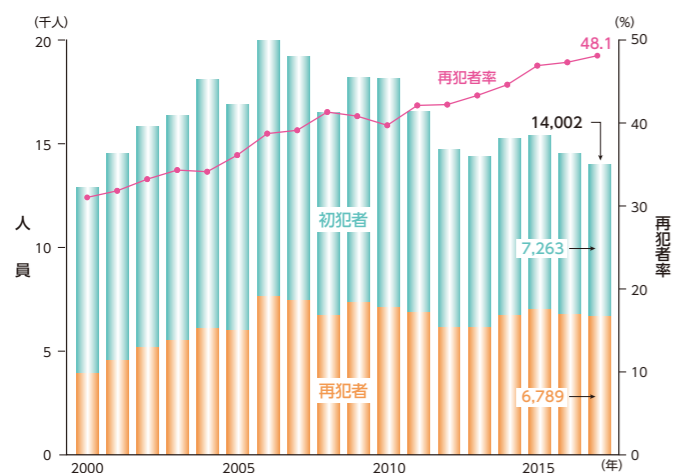
再犯防止に向けてモデル事業を推進

鈴木純議員(稲沢市、3期)は、犯罪被害者支援と再犯防止について質問を行い、なかでも愛知県における刑法犯検挙者に占める再犯者の割合が年々上昇していることから、再犯防止推進モデル事業に関する県の考えを質した。

県は、再犯防止対策には支援の担い手となる関係機関・団体との密接な連携のもと、医療・福祉・就労・住居・教育など幅広いアプローチからの取組が必要なことから、新たな協議会を設置したと答弁。

また、地域における再犯防止のあり方を検討するため、法務省が実施する「地域再犯防止推進モデル事業」に申請し、採択された事を受け、今後は協議会の

検挙人員中の再犯者率の推移(愛知県警察)



場で犯罪や非行をした者の実態や支援ニーズ、協力雇用主など支援する側の要望を把握した上で、モデル事業を具体化していくとの答弁を引き出した。

瀬戸市での太陽光発電事業の問題点を指摘

長江正成議員(瀬戸市、3期)は、瀬戸市内で計画される太陽光発電事業の事案について、国ガイドラインに規定された地域との関係構築の点や土地開発・発電設備の設計及び施工段階における住民への説明が不足している点を挙げ、建設中止の勧告をすべきではないかと指摘し、県の考えを質した。

これに対し県は、事前協議の最中である事を理由に、「事業者に対し、地域住民に対する説明会を適切に開催するなど地域の方々の理解と協力が得られるよう指導する」との答弁に終始し、明確な回答を得るには至らなかった。

その他の一般質問

小山 たすく 議員(みよし市選出 3期)

カジノを含む統合型リゾート(IR)の誘致について

安井 伸治 議員(名古屋市港区選出 1期)

南海トラフ地震対策、言葉の壁を越えた多文化・国際交流事業について

黒田 太郎 議員(名古屋市千種区選出 1期)

データヘルス計画の推進、最近の金融情勢について

新政あいち県議団ホームページ&FaceBookを開設しました

本年2月に立ち上がった新政あいち県議団では、今年度の活動方針の一つとして「広報の充実強化」を掲げ、その一環としてホームページとFacebook ページを開設しました。

今後はこうしたツールを活用しながら、県議団の活動をタイムリーに発信し、議会活動を「見える化」していきます。



新政あいち県議団

検索

<https://shinsei-aichi-kengidan.com/>

県民のみなさまにこれまで以上に興味をもっていただき、関心が「信頼」と「信託」へと変わるよう努めてまいりますので、是非一度アクセスしてください。



新政あいち県議団